

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月14日

上場会社名 ローヤル電機株式会社

上場取引所 大

コード番号 6593 URL <http://www.royal-elec.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 佐藤 和義

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 鮫島 弘一

TEL 03-5424-1860

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	2,472	△13.4	57	△73.1	66	△68.6	△1,213	—
24年3月期第2四半期	2,855	33.0	214	977.7	211	503.6	108	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △1,235百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 108百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△288.68	—
24年3月期第2四半期	25.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	5,917	3,961	66.9	942.28
24年3月期	7,353	5,241	71.3	1,246.72

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 3,961百万円 24年3月期 5,241百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,980	△10.4	127	△62.8	148	△61.9	△1,168	—	△277.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社 (社名) 楽揚電機(深セン)有限公司、除外 1社 (社名)

(注)詳細は、【添付資料】P.2「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、【添付資料】P.2「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 有  
④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、【添付資料】P.2「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	4,342,554 株	24年3月期	4,342,554 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	138,178 株	24年3月期	138,178 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	4,204,376 株	24年3月期2Q	4,248,245 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	2
4. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(6) セグメント情報等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要を背景に景気の一部に緩やかな回復の兆しが見られたものの、中国を中心とする新興国経済の成長鈍化や長引く欧州債務問題及び円高の影響、原油価格の上昇懸念等、依然として先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような経済状況のもとで、当社グループは、顧客ニーズに的確に対応した新製品の開発と短納期化に努め、「軸流ファン」の中国への生産移管及び中国市場の更なる開拓を推進し、熊谷工場との効率的生産システム構築による業績向上に総力をあげて取り組んでおります。

上記の経済環境のもと、前年第1四半期における震災後の仮設住宅等緊急復旧需要やメーカー各社の生産リスク回避を意図した在庫積上げ需要等が無くなったこともあり、当第2四半期連結累計期間における売上高は24億7千2百万円(前年同四半期比13.4%減)、営業利益は5千7百万円(前年同四半期比73.1%減)、経常利益は6千6百万円(前年同四半期比68.6%減)となりました。四半期純損失につきましては、平成24年11月9日「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表のとおり、ワシ興産株式会社に対する貸付金に対し、特別損失として貸倒引当処理を行ったことにより四半期純損失12億1千3百万円(前年同四半期は1億8百万円の四半期純利益)となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間末の総資産は、59億1千7百万円(前期末比14億3千5百万円減少)、純資産は39億6千1百万円(前期末比12億7千9百万円減少)、自己資本比率は66.9%(前期末71.3%)となりました。

総資産の減少は、主に長期債権の貸倒引当金が増加したことによるものです。純資産の減少は、四半期純損失の計上と配当金の支払があったことと、更に有価証券の時価が変動した結果、その他有価証券評価差額金が減少したことによります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月11日に公表しました平成25年3月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成24年11月9日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間において、樂揚電機（深圳）有限公司を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、法定実効税率を使用しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

##### (減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による損益に与える影響額は軽微であります。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,120,945	1,335,611
受取手形及び売掛金	1,722,441	1,427,950
有価証券	18,339	16,502
営業投資有価証券	1,348,967	666,744
商品及び製品	171,098	187,336
仕掛品	155,764	209,509
原材料及び貯蔵品	431,902	328,256
繰延税金資産	83,583	1,201
その他	461,344	33,509
貸倒引当金	△3,428	△1,029
流動資産合計	5,510,960	4,205,591
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	257,198	246,180
機械装置及び運搬具(純額)	73,211	64,971
工具、器具及び備品(純額)	51,225	41,818
土地	662,485	662,485
リース資産(純額)	20,791	19,263
有形固定資産合計	1,064,911	1,034,719
無形固定資産		
のれん	298,317	277,744
借地権	32,841	32,841
その他	45,579	39,683
無形固定資産合計	376,739	350,269
投資その他の資産		
投資有価証券	333,706	302,284
破産更生債権等	2,423	1,201,518
その他	68,006	24,942
貸倒引当金	△3,342	△1,201,576
投資その他の資産合計	400,794	327,168
固定資産合計	1,842,445	1,712,156
資産合計	7,353,405	5,917,748

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	907,952	865,092
短期借入金	500,000	427,013
1年内返済予定の長期借入金	56,551	25,992
未払法人税等	11,912	20,020
賞与引当金	51,467	58,192
その他	162,742	167,872
流動負債合計	1,690,625	1,564,184
固定負債		
長期借入金	36,862	23,866
リース債務	8,672	7,469
繰延税金負債	73,235	67,384
退職給付引当金	272,661	259,163
役員退職慰労引当金	11,881	16,053
資産除去債務	14,700	14,700
その他	3,106	3,045
固定負債合計	421,119	391,683
負債合計	2,111,744	1,955,868
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,538,448	1,538,448
資本剰余金	1,676,743	1,676,743
利益剰余金	2,267,844	1,012,094
自己株式	△227,043	△227,043
株主資本合計	5,255,992	4,000,242
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37,801	15,293
為替換算調整勘定	△52,133	△53,835
その他の包括利益累計額合計	△14,331	△38,541
新株予約権	—	180
純資産合計	5,241,661	3,961,880
負債純資産合計	7,353,405	5,917,748

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	2,855,995	2,472,146
売上原価	2,260,820	2,025,835
売上総利益	595,174	446,311
販売費及び一般管理費	380,476	388,454
営業利益	214,697	57,856
営業外収益		
受取利息	240	8,224
受取配当金	4,805	4,945
持分法による投資利益	5,505	4,956
受取賃貸料	5,460	4,800
その他	7,740	13,691
営業外収益合計	23,752	36,618
営業外費用		
支払利息	1,750	1,848
有価証券評価損	721	1,837
為替差損	22,221	20,340
その他	1,864	3,887
営業外費用合計	26,557	27,914
経常利益	211,892	66,559
特別利益		
保険解約返戻金	—	28,810
特別利益合計	—	28,810
特別損失		
固定資産除却損	46	—
投資有価証券評価損	—	3,965
貸倒引当金繰入額	—	1,200,000
クレーム関連対策費用	83,697	—
特別損失合計	83,744	1,203,965
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	128,147	△1,108,595
法人税等	19,785	105,110
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	108,361	△1,213,706
少数株主損失(△)	△611	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	108,972	△1,213,706

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	108,361	△1,213,706
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,729	△19,943
為替換算調整勘定	△1,486	△1,702
その他の包括利益合計	243	△21,646
四半期包括利益	108,604	△1,235,352
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	108,712	△1,235,352
少数株主に係る四半期包括利益	△107	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	128,147	△1,108,595
減価償却費	50,114	56,568
のれん償却額	20,573	20,573
有形固定資産除売却損益(△は益)	46	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,513	1,195,835
賞与引当金の増減額(△は減少)	567	6,711
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△6,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	11,039	△13,497
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,037	4,171
受取利息及び受取配当金	△5,046	△13,170
支払利息	1,750	1,848
有価証券評価損益(△は益)	721	1,837
持分法による投資損益(△は益)	△5,505	△4,956
投資有価証券評価損益(△は益)	—	3,965
保険解約返戻金	—	△28,810
売上債権の増減額(△は増加)	△174,312	318,370
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	△34,455	682,223
たな卸資産の増減額(△は増加)	207,380	30,100
仕入債務の増減額(△は減少)	161,422	△28,883
未払消費税等の増減額(△は減少)	△5,710	△6,123
為替差損益(△は益)	75	52
その他	△20,545	36,886
小計	336,786	1,149,106
利息及び配当金の受取額	5,043	13,168
利息の支払額	△1,813	△1,144
法人税等の還付額	12,286	14,470
法人税等の支払額	△16,035	△8,104
営業活動によるキャッシュ・フロー	336,267	1,167,497
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△18,189	△41,846
無形固定資産の取得による支出	△8,189	△1,210
投資有価証券の取得による支出	△2,280	△2,390
貸付けによる支出	△600,000	△800,000
保険積立金の解約による収入	—	70,160
その他	△2,500	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△631,158	△775,287
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	500,000	—
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△72,986
長期借入金の返済による支出	△49,662	△43,555
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△4,780	△4,739
自己株式の取得による支出	△25,915	—
配当金の支払額	△21,532	△41,890
新株予約権の発行による収入	—	180
財務活動によるキャッシュ・フロー	398,109	△162,990
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,881	△14,552
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	100,337	214,666
現金及び現金同等物の期首残高	361,775	1,110,832
現金及び現金同等物の四半期末残高	462,112	1,325,498

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	送風機事業	住設事業	自動巻線機事業	企業再生支援 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	1,308,952	475,139	879,040	39,968	2,703,100	152,894	2,855,995	—	2,855,995
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,308,952	475,139	879,040	39,968	2,703,100	152,894	2,855,995	—	2,855,995
セグメント利益又はセグメント損失(△)	183,182	46,096	44,717	34,759	308,755	△4,209	304,545	△89,848	214,697

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業を含んでおりません。  
2. セグメント利益の調整額△89,848千円の主なものは、当社の総務部門等、一般管理部門に係る費用であります。  
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。  
4. アクア関連事業は平成22年10月31日付で、株式会社バイコムに事業譲渡いたしました。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	送風機事業	住設事業	自動巻線機事業	企業再生支援 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	1,153,967	450,398	798,637	69,142	2,472,146	—	2,472,146
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,153,967	450,398	798,637	69,142	2,472,146	—	2,472,146
セグメント利益又はセグメント損失(△)	143,201	△3,394	△13,500	48,144	174,450	△116,593	57,856

- (注) 1. セグメント利益の調整額△116,593千円の主なものは、当社の総務部門等、一般管理部門に係る費用であります。  
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。